



宮崎県立宮崎西高等学校同窓会

# 朝陽会会報

第 21 号

発行所  
宮崎県立宮崎西高等学校同窓会  
朝陽会事務局

〒880-0951

宮崎市大塚町柳ヶ池 3975 番地 2

TEL (0985) 48-1021

## ごあいさつ



朝陽会会長

久保 裕  
(二期生)

朝陽会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、同窓会活動に対し、深いご理解とご支援を頂き誠にありがとうございます。

さて、同窓会活動も母校の創立四十周年を契機に益々パワーアップ。昨年は、長年の懸案でありました学年代表者会の発足、更には総会時にお約束しておりました朝陽会福岡支部の発足等々、会員の皆様のご支援のおかげで順調に進めることが出来ました。心より御礼申し上げます。

先述した学年代表者会とは、卒業時に卒業後のクラスのとめ役を行って頂く代表者を選出して頂きますが、その代表者の全体会のことです。昨年初めて、一期卒から今までの期の会合を行いました。十歳になる歳に同窓会懇親会の企画から

運営までを同窓会理事会と協力して行って頂くというものでしたが、これからは先輩後輩の垣根を取り外し、同じ宮崎西高校を卒業した代表者同士、互いに交流を深め、母校の発展を支援するという趣旨のもと、日頃より連携を取って、卒業各期ごとに声かけを行い、年一回開催される総会懇親会への参加を積極的に促して頂くことよって、もつと盛大に総会懇親会を開催したいと考えています。

そうすることによって会員相互の連携親睦がさらに深まり、同窓会をさらに発展させていくことが出来るのではないかと考えています。

五年ほど前まで母校のPTA会長を務めさせて頂く中で、現役の後輩の皆さんが、毎日スポーツや勉強に一生懸命に励み、文武両道の宮崎西高校の名を全国に馳せる様子を間近に見せて頂き、とても嬉しく頼もしく思えたものです。私たち卒業生も後輩達に負けないよう、良き模範となるべく、さらに頑張ってお参りたいと思います。これからも同窓会活動に対し、皆様方の更なるご支援ご協力を何卒宜しくお願い致します。

結びに会員の皆様方の今後益々のご健勝並びにご活躍を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

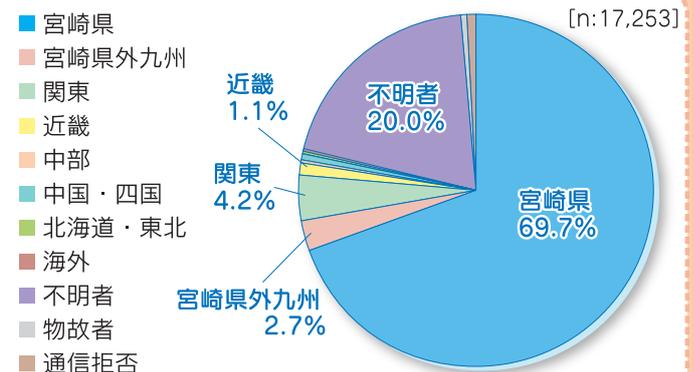
## 朝陽会会員構成

朝陽会会員(西高卒業生)は、第一回・一九七七年(昭和五十二年)三月の卒業生二五二名から、昨年(二〇一四年)三月までで、**総計一七、六六四名**です。

※宮崎県のHPで調べてみると、川南町や新富町の人口と同じくらいでした。

二〇一四年九月に創立四十周年を記念して発刊された同窓会名簿作成の為の調査では、宮崎・九州を中心に、海外まで各地に巣立っていることがわかります。

※宮崎県の中には、県外にお住まいになっているものの、実家を連絡住所として登録されている方も多数含まれていますので、実際にはこのグラフより他のエリアの数値が高くなります。



これまでは、高校を卒業し、それぞれにライフスタイルが変化していくにつれ、会員の皆さんの足取りがつかめなくなっていたのが実情です。四十年近い月日の中で約二割の方と連絡がつかなくなっていました。大変残念なことです。

以前に比べるとメールやSNSの普及で連絡をとりやすい環境にはなっていますが、こうした状況を改善し、朝陽会会員同士、よりつながりやすい体制をとるための一つの手段として、今回、同窓会コミュニティサイト「ビキタ」を導入する運びとなりました。

今月立ち上げたばかりのこのサイトでは、これまでのHPのワンウェイの情報発信ではなく、任意ですが、ID・パスワードで登録していただくことにより、ツイッターの情報を交換ができるようになります。

例えば、クラスのコミュニティを作ってもらっておくと、「成人式の後に集まろう!」と思った時に、そこにアップすることで登録しているメンバー全員に情報を伝えられ、時間の調整や出欠の確認まで、できるようなります。

将来的には、朝陽会総会・懇親会の案内も、このサイトから行くべく予定しています。

卒業生の皆さん、ぜひ活用ください。

同窓会コミュニティサイト **ビキタ**  
http://www.bikita.jp



# 柳田達郎

やなぎだたつろう

1978 年卒 (2 期生) / 普通科・文系

なりたかった職業：  
とにかく音楽に携われる仕事

卒業後の進路：  
武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科

「写譜」という言葉を聞いた事はありますか？大雑把に言えば、作曲家や編曲家が書いた総譜（スコア）を、楽器奏者たちが演奏できるようにパート譜に書き分ける事。私は、その写譜を生業にしています。

この道に入ったきっかけは、音大在学中より演奏の仕事の世界に入り、スタジオやステージなどの仕事をこなしているうち、そこで必ず目にする手書きの譜面に興味を持ったところから始まりました。

現在は、パソコンソフトの進化で、かなり写譜屋さんと呼ばれる人は少なくなりましたが、手書きにはかけがえのない価値と独自の美学があると信じ、いい演奏が生まれる喜びを糧に、日々仕事に励んでいます。

そもそも、西高に入学した当時から音楽一筋。吹奏楽部作りの為に署名活動もやりましたが新設校ではやはり難しい話で、野球部の県予選大会には、仕方なくトランペット吹きの友と私のトロンボーンで応援に駆けつけました。翌期の地方紙に「西高、応援で勝った二人だけのブラスバンド！」という記事が載ったのが、報われない中での微かな喜びだったことを記憶しています。

世の中に出ると、本当にいろいろな仕事があるのだという事に気がかされます。卒業生の皆さんもどうか固定観念に捉われないで、大海に飛び出して行って欲しいと思います。

私はちょっと特殊過ぎるかもしれませんが、様々な職業として豊かな経験や知恵を持った大勢の先輩たちが、あなたたちと語り合い、時にはアドバイスを送って上げる機会が訪れる事を、楽しみに待っています。

## 卒業生からのメッセージ



# 平部隆明

ひらべ たかあき

1986 年卒 (10 期生) / 普通科・文系

職業 (会社名)：(株) ホリプロ  
ドラマ・映画プロデューサー

かなりのボンクラ生徒だった私から、後輩のみなさんにアドバイスなど本当におこがましいのですが、頑張って考えてみました。みなさんには、ぜひ自分自身の拠り所となる「何か」を見つけることをお勧めします。

他人は関係なく、自分が夢中になれる「何か」。勉強でもスポーツでも趣味でもなんでもいいです。いわば、他人が立ち入ることのできない自分だけの「聖域」です。それさえあれば、辛いことがあっても、そこに帰ることで明日を生きる活力が湧いて、結果、毎日が豊かになります。さらに、それを共有できる友達が出来ればベストです。その友達とはきっと親友になれるでしょう。

将来的にそれに関連した仕事に就ければ最高に充実した人生が送れるし、全く関係ない仕事を選んだとしても、それさえあれば満たされた人生になる。何年か先にそれが全く別のモノに変わっても全然構わないし、今見つからなくても、いつか見つければいい。

自分の話をすると、西高時代の私は勉強そっちのけで音楽とプロレスに夢中でした。小遣いは全てレコード (当時 CD はありませんでした) に化け、世界中のプロレスラーの名前と技を覚えるのに必死・・・という今にして思えば、本当に無駄でくだらないことに大事な青春時代を費やしていました (汗) 私が親なら、そんなバカな子供を大学に行かせません。お金の無駄です。

成績はもろん褒められたものではなくたのですが、優い両親のおかげで進学させてもらい、その時期に音楽の好みの合う友人たちと数多く出会えたことが、振り返れば現在の仕事に関わるきっかけでした。プロレスは格闘技の形を変えて、30 代半ばで遂に見る側からやる側に回り、私の毎日に欠かせないモノになりました。最近ではインスタクションを頼まれることもあります。

そんな具合に、ボンクラな私でも高校時代に夢中になった事が今だに続いていて、そのお陰でなんとか人並みにやれていますから、私よりずっと優秀なみなさんにはもっと素晴らしい未来が必ず待っています。ぜひ自分だけの「何か」を見つけてみてください。

最後に、将来が見えず鬱々としていた 20 代の頃、アジアの巨匠チェン・カイコー監督と偶然お話をする機会に恵まれ、その時、彼から言われた言葉がずっと自分の支えになっているので、それをみなさんに贈ります。

「自分の信じることを諦めずに続けられ、いつかきっとサクセスは訪れる」以上。

# 戎井浩二

えびすいこうじ

1980 年卒 (4 期生) / 理数科

一番の思い出：修学旅行  
なりたかった職業：医師、工学系の技術者  
職業 (会社名)：医師「えびすい医院」院長 (京都府)



## 『遇いがたくして今会うことを得たり』

寝付きのいい私もさすがに医院開院前夜は全く寝付けませんでした。本当に患者さんが来てくれるだろうか？本当に不安でした。あれから約 10 年、最近ようやく「町医者」らしくなった気がします。

しかし私が開業医になるなど自分でも全く想像外。「資格があれば食える」という動機で医学部に進み (ちゃんと勉強はしましたが)、あまり考えず泌尿器科医になった私。未だになぜ自分が医者なのか不思議です。

ただここに至る人生を振り返ると、たくさんの偶然、「ご縁」とも言うべきもので成り立っているように思えます。教室で隣り合った同級生、本屋でふと見つけた一冊の本、旅で見た街々の風景、我が家に迷い込んだ子ネコ、そして家族・・・人生を変えた「ご縁」、意外に多いことに気づきました。

人は勝手に育つものではありません。「ご縁」を通じて互いに影響を与えあい、見えない速度で少しずつ成長します。しかし時々、成長を加速したり、方向を変える、とても大きな「ご縁」があります。そのおかげで今これを書くことができていると思います。

「遇いがたくして今会うことを得たり (親鸞)」これは「会う」だけでなく「知る」「経験する」、何でもよいのです。これから旅立つ皆さんには、このように思えるすばらしい「ご縁」がたくさん訪れることをお祈りしています。

# 松岡逸美

まつおか いつみ

1995 年卒 (19 期生) / 理数科

一番の思い出：球技大会で優勝し、百姓うどんの例のカキ氷をクラスの皆で食べたこと (担任の先生がご馳走してくれました♪)  
部活：バスケットボール部  
職業 (会社名)：株式会社ビデオリサーチ



ご卒業おめでとうございます。

私は 20 年前の宮崎西高校卒業生です。人生とは面白いもので、高校時代に思い描いていた将来と全く違う人生を歩んでいます。生物科学者を目指し大学に進学したものの、就職は IT 企業。その後転職し、今はテレビやネットなどのメディアや、消費者や市場動向を調査する総合マーケティングリサーチ会社に勤めています。「視聴率」という言葉を聞いたことがある方もいらっしゃるかもしれませんが、テレビ番組がどれくらいの人に見られているのかを測定するのも会社の事業の一つです。私はテレビ事業推進部に所属し、毎日「テレビ」のことばかり考えて生活しています。子供のころから大のテレビ子だったので、幸いにも楽しく仕事していますが、ここに到るまで随分回り道したものです。

今回の寄稿は、今の会社に転職したことで西高の先輩と出会ったことがきっかけです。「朝陽会」理事の興松希代子さんは 1986 年卒で、私が今勤めている会社にお勤めでした。私が入社した時には既に雲海酒造に転職されていて面識がなかったのですが、3 年前にたまたまお会いする機会があり、今回のお話が続いています。高校時代は繋がりようもなかった方との出会い。人の縁は廻り巡るものですね。今の仲間との繋がりを大切にしながら、これからどんどん縁を拡げていってください。そしていつか巡ってくる縁を楽しんでください！

## 第21回全期合同総会・懇親会 2014.8.16

齊藤友亮 (17期生)

2014年8月9日(土)、ニューエルシティ宮崎において開催を予定していた第21回全期合同総会・懇親会ですが、台風11号接近のため、直前でやむなく16日(土)に延期し実施いたしました。想定にない実施日変更で、17期実行委員会も準備等大変苦慮いたしました。無事に開催でき本当に良かったです。

17期実行委員会は、2013年11月に立ち上げ、翌年2月より本格的に企画立案等の準備をおこなってきました。17期卒業生に関しては、卒業して20年以上経っているということで、同窓会名簿にある住所からは既に連絡がつかない仲間も多く、声かけに大変苦慮しました。少ない情報網の中、フェイスブックやLINEといったSNSツールを最大限利用し、7月末時点で100名近くを集めることができたのですが、先述の台風による日程変更により、再度短い時間で出欠の確認を取り直す必要が出てきました。1週間ほどしかない期日の中で、往復はがきやSNS、電話を駆使し、延期の日時を連絡、70名近い仲間が集まってくれました。実行委員会に関しては、苦勞が多かったからこそ、達成感も大きく、その後今後続く親なる友情の一助を、この第21回全期合同懇親会に頂いたと深く感謝しております。本当にありがとうございました。



## 朝陽会福岡支部発足会 2014.11.29

溝口 潔 (1期生)

平成26年8月に開催されました朝陽会同窓会総会において、福岡支部設立のご提案をさせていただき、福岡支部発足へ向けて動き始めました。

福岡在住の1期生三井さんを中心に準備を進めていただき、本部総務部会では、福岡、佐賀、長崎、大分、山口在住の卒業生へ案内状を送付しました。

その結果、11月29日(土)に、福岡市内のタカラホテルにて、計35名の卒業生と現校長の篠原先生にもご出席いただき発足会が盛大に開催されました。

福岡支部長には1期生の石野田元司さんをご就任され、また数名の卒業生がお世話係を引き受けてくださいました。発足会にご参加いただいた皆さまからは、多くの温かいお言葉をいただき、大変感謝しています。

これを機に多くの卒業生の輪がますます広がることを祈念します。



### 福岡支部 支部長紹介



石野田 元司 (いしのだもとじ)

1977年卒(1期生) / 普通科・理系  
職業(会社名):九州電力 長崎電力センター

### 卒業に寄せて

この度、昨年11月に発足しました朝陽会福岡支部の支部長を仰せつかりました石野田と申します。微力ではありますが、朝陽会ならびに西高発展のため精一杯務めさせていただきますので、宜しくお願いします。

この会報は平成26年度の卒業式にあわせて発刊されるとのことで、卒業生に置かれましては、お慶び申し上げます。今年の干支は「乙未」(きのと・ひつじ)で「乙」は草木の芽が殻を破り、外に先端を出した象形。未「は」一(短い)と「木」からなり、「一」が繁茂すると暗くなり木が育たないことを表しており、総じて草木が本来の好ましい先へ伸びていくように一人ひとりが努力していく年であるということだそうです。これから進学、就職をされ、人生の船出をされていられる卒業生の皆様方にとって相応しい年ではないかと思えます。

最後になりましたが、朝陽会会員の皆様方、後輩諸氏のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

# 関東支部だよ

朝陽会関東支部 幹事長 河野 一隆 (五期生)

在校生の皆様、ならびに朝陽会の皆様、日頃より朝陽会関東支部にご高配を賜り心より御礼申し上げます。

朝陽会関東支部は二〇〇八年に発足しました。昨年は七回目の総会・懇親会を七月十二日(土)に芝大門増上寺近くのメルパルク東京にて六十名の参加を持って開催いたしました。

懇親会では、出席できなかった会員よりの寄贈品(焼酎など)がありましたので、初の試みとしてそれを景品として、全員による大じゃんけん大会を決定し大いに盛り上がりました。また、関東以外の地方よりの参加も受け付けておりますので、青森県からの参加者もありません。

いつものように最後はみんなで校歌を斉唱しお開きになるのですが、その後の二次会はグループに分かれてまた一層の盛り上がりを見せたのはいうまでもありません。

関東支部は二十代の会員なら原則半額三十代も割引の会費とさせていただいておりますので、若い方の参加を促進しております。今年も第八回の開催に向け企画・運営していきたいと存じます。

最後に、宮崎西高等学校ならびに朝陽会の皆さまのご発展を祈念しつつ、関東支部のご報告とさせていただきます。

関東にお住まいになる皆様、ぜひお気軽に事務局までご連絡ください。  
chouyoku.kantou@gmail.com



# 関西支部だよ

朝陽会関西支部 支部長 松尾 佳司 (三期生)

朝陽会関西支部は、平成十七年八月に開かれた朝陽会総会で、朝陽会初の支部として正式に承認されました。役員結束のもと、平成十八年度第一回総会より、これまで九回にわたり総会を開催してきました。今年六月に開催予定の平成二十七年総会は、支部結成十周年を記念する総会となります。総会以外にも、会員懇親会(てげげ会)を開催するなど、関西在住宮崎西高出身者交流の場として活動を続け、特に、平成二十四年三月の母校野球部甲子園大会出場の際には、たいへん微力ではありますが、支部として応援活動を行いました。尚、副支部長の鎌田敏郎さん(一九八一年卒・五期生)は大阪大学教授、理事の宮崎修一さん(一九八九年卒・三期生)は京都大学准教授です。同大学に在籍されている宮崎西高卒業生の方は、どうぞ、気軽に声をかけて下さい。尚、関西支部活動の詳細については、朝陽会関西支部公式ブログ (<http://blog.goo.ne.jp/cykkansai>) をご覧下さい。



総会やてげげ会など、関西支部主催イベントの案内をさせていただきますので、関西に進学される宮崎西高卒業生、関西在住宮崎西高出身の皆様は、関西支部事務局までメールがファックスで、卒業年・氏名・連絡先など、ご連絡下さい。

## 第二十二回(平成二十七年) 全期合同総会・懇親会のご案内



第二十二回朝陽会代表幹事

十八期生 山田 真太郎

立春の候、宮崎西高等学校朝陽会の皆様におかれましては、ますますご健勝の事とお喜び申し上げます。さて、今年四十歳を迎える十八期生が幹事学年として準備を進めております同窓会ですが、今年で第二十二回目の開催となります。今年から、幹事学年の前後十期の方々にもお声かけをする運びとなっております。例年以上の盛り上がりを見せられるものと期待しております。また、当時お世話になった

先生方もたくさん参加していただけるように準備を進めているところであります。この同窓会を通して、卒業生同士の絆が深まり、朝陽会が大きく発展していけたらと考えております。皆様方におかれましては何かとご多忙と存じますが、何卒ご参加頂きたくご案内申し上げます。

### 記

日時：平成二十七年八月八日(土)

受付 十七時・総会 十七時半・懇親会 十八時

場所：ニューウェルシティ宮崎

宮崎市宮崎駅東二丁目二番地八

(電話)〇九八五一三三三三三三

会費：五,〇〇〇円

## 編集後記

別れと出合いの春ですね。時期は違っても、同じ場所での記憶を共有できるということは本当に素敵なことだと思います。初めに会った時から、共通の話題満載で、今更、メッセージをお願いした松岡さん、写真をもらってビックリ。私とせんとくんツーショットの写真がありました。つーん、これまたご縁ですね。次回お会いする時はこの話題から盛り上がりそうです。最近の話題「娘(息子)が西高に行ってるんだけど、英語〇〇先生に習ってるよ。覚えてる?」「ええ、あの先生、西高に戻ってきてるの?好きやったい。会いたい」親子二代で西高という方もたくさんいらっしゃるんですよ。ぜひ、この会報をご両親にも見せてください。



【編集委員】朝陽会 副会長 伊藤 朋子  
広報部会 部長 中山 信幸  
副部長 興松裕代子  
副部長 興松裕代子

《メール》choyokai-kansai@voice.ocn.ne.jp 《ファックス》06-6567-3170

それでは、以下に、平成26年の朝陽会関西支部活動について、ご紹介します。

- [1月] 第5回てげげ会を開催(アダスタム/ニューオーサカホテル店)
- [2月] 平成25年度朝陽会会報に寄稿
- [4月] 第1回朝陽会関西支部定例理事会を開催(ニュートーキョー/第一生命ビル店)
- [6月] 第9回平成26年度朝陽会関西支部総会を開催(ジョーズジャンハイニューヨーク/グランフロント大阪店、写真有)
- [8月] 平成26年度朝陽会総会に理事の中原薫さん(1986年卒・10期生)が出席
- [9月] 第2回朝陽会関西支部定例理事会を開催(ワインウエアハウス/堂島店)